

【実践者研修】
職場実習計画書

事務局チェック欄

受講番号	3-36	職種	介護	氏名	県庁 太郎	事業所名	〇〇〇〇センター
タイトル:							
実習期間	自: 令和5年 7月 25日		至: 令和5年 8月 24日		※職場実習スタート日を記載 ※課題提出の前日		

【現状把握】※具体的に現在の状況や状態、現状に至った背景を記載
84歳 男性 認知症の原因疾患は不明だが、肝細胞癌のため、度重なる化学療法を施行され、脱水症状、転倒、食思不良、意識低下等の状況が現れ、医師は脳への癌転移を疑って頭部CT施行したが明らかな腫瘍性病変はなかったとの事。おそらく治療を継続している中で徐々に認知機能が低下し、指示が通りにくい状況になったと思われる。
【課題】※具体的に記載
ディサービスがない日は寝たきりで排せつも垂れ流し状態のため、妻の介護負担が大きい。そのため、少しでも妻のレスパイトになればとディサービスを利用しているが、Hさんは寝て過ごせるため自宅から出たがらず、認知機能があつという間に低下してきている。
目標(4週間で実現可能な目標)
Hさんにとってのディサービスが、少しでも「来てよかった」「楽しかった」「また来よう」と思ってもらえる環境になる。
具体的な支援内容
①とにかく休まずディに来てもらう。休みたいと本人から電話があってもまず訪問して本人の話をきき、出来るだけディに連れ出す。②本人の自尊心を傷つけないような声掛け、対応をする。③ほかの利用者のお手本になるようなレクの進め方をする。④午後のレクで今どきの若者に対して一言を色紙に書いてもらう。⑤先生時代を思い出すような関わりをする。(少し保健室で休んでみましょう等)⑥地元の昔の「区誌」等を図書館で借りてきて昔の話を聞く。⑦教員時代の思い出話を聞く。⑧先生の自分誌を作成したいと持ち掛け、生い立ちや小学校、中学校時代の話やどんな事を大切に生きてきたか等を聞き取る。⑨ディは遊びに来るところではなく、先生が来ることによって利用者が生き生きとなる、役に立っている、なのでぜひ手伝ってほしい、先生の生き方を学ばせて欲しいとアプローチし、「自分のためのディ」ではなく「人のために行く」と思ってもらう。

【方法とスケジュール】【具体的な方法】

1週目	7月 24日 ～ 7月 30日	<ul style="list-style-type: none"> ●上司やスタッフに実践内容を説明し協力依頼をする。 ●「家に帰る4」と訴えがあった時は傾聴し、他のスタッフと情報を共有する。 ●レク活動で昔やっていた絵画を提供し描いている様子を見る。
2週目	7月 31日 ～ 8月 3日	<ul style="list-style-type: none"> ●帰宅要求があった時は傾聴し、どのような対応をしどんな様子だったかみていく。 ●レク活動で絵を描いてみて本人にどうだったか話を聞く。
3週目	8月 4日 ～ 8月 10日	<ul style="list-style-type: none"> ●落ち着かなくなった時にどんな声掛けをして落ち着いたか他のスタッフから情報をもらう。 ●絵画と別に興味がある物を聞き今後のレク活動で取り組んでいく。 ●教員時代を思い出すような関わりをする。
4週目	8月 11日 ～ 8月 17日	<ul style="list-style-type: none"> ・実践計画及び実践成果に対する自己評価を行う ・利用者の変化やケアの方法について記録をとり、今後の課題も含め検討する。(実習の成果から分かった事、見えたことなど) <p>(実践内容の整理・評価・報告書の作成)</p>
★上司コメント欄★ 上記の内容をお読みいただき、実習への期待・励まし、助言等についてご記入ください。		
<p>(受講生)さんは真面目なので、それが裏目に出て考えすぎてしまう傾向があります。今回の研修は(受講生)さんだけの研修で終わらせないよう、職場を巻き込み、良い刺激になれば期待しています。また、オンライン研修の難しさを痛感しており、不明な事はすぐに確認できるような存在でありたいと思います。研修での成果が感じられるよう、実のある1か月にしていきたいです。</p>		
役職名:	管理者	役職者サイン: 〇〇 〇〇